

# マダニに噛まれた愛犬の飼い主様へ

～ご協力をお願いします～

ダニ媒介性脳炎ってご存知でしょうか？

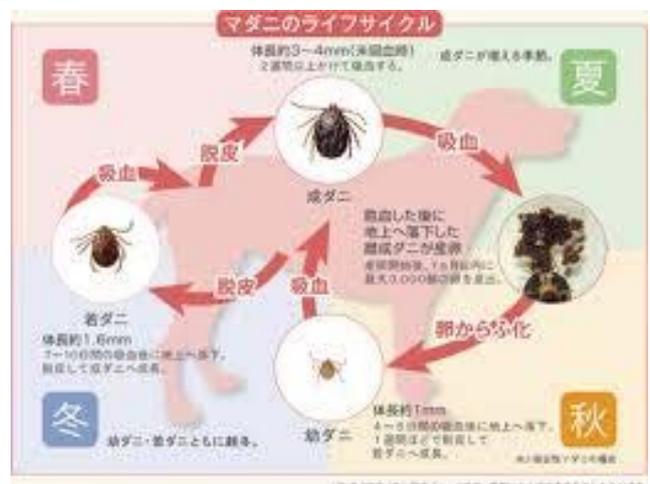
最近、西日本で話題となっている重症熱性血小板減少症候群(SFTS)をはじめ、マダニから移る病気が注目されています。ダニ媒介性脳炎もマダニから移る病気です。ウイルスに感染した野生動物の血を吸ったマダニが、ヒトや犬、家畜に咬着しウイルスを移します。日本で確認されたヒトの感染例は4名で、全て北海道内です。ヒトが感染し発症すると脳炎になり治療が難しいのが現状で、死亡例も出ています。また犬や家畜は感染しても症状が出ない場合が多いと言われています。

北海道大学獣医師学部公衆衛生学教室が診断方法を開発し、確定診断ができるようになりました。今まで原因不明の脳炎と思われていた中にマダニが関わる脳炎があったかもしれません。現在のところ全道的な疫学的調査は行われていません。

そこでマダニが増える春から秋にかけて、マダニのウイルス感染と犬への感染状況を調べることにより、犬のみならずヒトの健康にも貢献できると考えます。是非とも趣旨をご理解いただき、下記の調査にご協力いただけないでしょうか。よろしくお願いいたします。

## 記

1. 愛犬についてダニの採取  
ウイルス分離
2. 愛犬の採血  
ダニ媒介性脳炎ウイルス抗体価検査
3. マダニ採取に関するアンケート（口頭）



※検査費用は掛かりません

※検査の結果はお伝えします。検体がまとまった時点での検査になりますので、ご報告がずれることをご理解ください

※重症熱性血小板減少症候群(SFTS)についても検査する場合があります

(公益) 北海道獣医師会  
小動物臨床部会